

特集展示

大般若波羅蜜多經卷第一

# 版經

大般若波羅蜜多經卷第一  
蓋明二儀乃像顯碧  
無形法界其端明  
庸易化而天地苞平  
其數然而天地苞平  
以甘對馬のつなぐ仏の教え  
者以其無形也故知  
不惑也故知願可敬  
舉成也故知願可敬  
則弥於宇宙絀之則  
無生歷千劫而不古  
福而長今妙道凝玄  
法流湛寂挹之莫測  
其源故知蠢



菩薩坐像 高麗時代・14世紀 長崎・多久頭神社

# 渡来版經

## スポットを当てた展覧会

空前の?!

印刷された經典、その名も版經。

どれも同じに見えますが、実はそのひとつひとつに物語が隠されているのです。贈り物にお経？

室町時代の人々はお経コレクターだった？  
渡来版經の奥深い世界を楽しんでいただけましたら幸いです。

■観覧料／一般 430円(220円)  
大学生 130円(70円)\*  
\*学生証等の提示をお願いします。

※( )内は有料の方が20名以上の場合の団体料金。  
※本展覧会は特別展「三国志」の半券でもご覧いただけます。  
※高校生以下・18歳未満および満70歳以上の方は無料です。展示室入口で生年月日がわかるもの(生徒手帳、健康保険証、運転免許証等)の提示をお願いします。  
※障がい者手帳等をご持参の方とその介護者1名は無料です。展示室入口で障がい者手帳等(詳細はHP等をご確認ください)の提示をお願いします。  
※キャンパスメンバーズの方は無料でご覧いただけます。展示室入口で学生証、教職員証等をご提示ください。  
※11月3日(日・祝)は「留学生の日」で留学生は文化交流展が無料(学生証が必要です)。  
※11月17日(日)は「家族の日」で中学生以下のお子様と一緒にお越しの方2名まで文化交流展が無料(1家族につき2名まで)。



交通案内  
【西鉄電車】西鉄福岡(天神)駅から西鉄天神大牟田線(特急約16分/急行約18分)で西鉄二日市駅乗り換え、西鉄太宰府線(約5分)で西鉄太宰府駅下車、徒歩約10分 ※特急/急行料金不要【JR】JR博多駅からJR鹿児島本線(快速約15分)でJR二日市駅下車、JR二日市駅から西鉄二日市駅(徒歩約12分、バス約6分)、西鉄二日市駅から西鉄太宰府線利用【西鉄バス】博多バスターミナル(1階11番のりば太宰府行き)から西鉄太宰府駅下車(所要時間約40分)、徒歩約10分

〒818-0118 福岡県太宰府市石坂4-7-2  
www.kyuhaku.jp  
NTTハローダイヤル 050-5542-8600(午前8時～午後10時/年中無休)

九州国立博物館  
《太宰府天満宮横》

### 《関連イベント情報》

#### ◎特集展示「版經東漸～対馬がつなぐ仏の教え～」 開催記念講演会

【対馬講演】(事前申込不要、聴講無料)  
日時／11月9日(土) 午後2時～午後4時30分  
11月10日(日) 午前10時～午後0時30分  
会場／9日(土)：峰地区公民館(対馬市峰町三根451)  
10日(日)：対馬市交流センター(対馬市巖原町今屋敷661)  
講師／横内裕人(京都府立大学)  
須田牧子(東京大学史料編纂所)  
瓜生 翠(長崎県立対馬歴史民俗資料館)  
松浦晃佑(九州国立博物館)

【九博講演】(事前申込不要、聴講無料)  
日時／11月17日(日) 午後1時～午後4時  
会場／九州国立博物館 1階 ミュージアムホール  
講師／横内裕人(京都府立大学)  
梶浦 晋(京都大学人文科学研究所)  
馬場久幸(佛教学)  
須田牧子(東京大学史料編纂所)  
松浦晃佑(九州国立博物館)

#### ◎ミュージアムトーク

「日本の人はお経コレクターだった？」  
事前申込不要、聴講無料(ただし、文化交流展の観覧料が必要です)  
日時／12月14日(土) 午後6時～午後7時  
会場／九州国立博物館 4階 文化交流展示室 第9室  
講師／松浦晃佑(九州国立博物館)

詳しくは九州国立博物館ホームページをご覧ください。



令和元年(2019) 10月29日(火)～12月22日(日)  
九州国立博物館 4階 文化交流展示室 第9室

開館時間／午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)  
毎週金・土曜日は午後8時まで夜間開館(入館は午後7時30分まで)  
休館日／毎週月曜日(ただし11月4日[月・休]は開館、11月5日[火]は休館)

主催／九州国立博物館・福岡県 協力／対馬市  
[上]重要文化財 大般若波羅蜜多經 卷第1 高麗時代・11～13世紀 長崎・長松寺  
[下]長崎県指定文化財 大方広仏華嚴經 卷第1 元時代・13～14世紀 長崎・東泉寺

九州国立博物館  
《太宰府天満宮横》

# 反響当然!? この機会を逃したら二度と見られない? 対馬の渡来版経が九博に勢揃い!

古来より、日本と朝鮮半島・大陸との結節点であった対馬には、日本と東アジアとの交流の歴史を物語る文化財が数多く遺されています。そのなかでも、朝鮮半島・中国から輸入された印刷經典（版経）は世界有数の文化財です。

室町時代、日朝交流を通じて、対馬には数多くの版経がもたらされました。元時代の中国で印刷されたもの、朝鮮半島を経由したものもあれば、高麗時代・朝鮮時代の朝鮮半島で印刷されたものもあります。その数もさることながら、バリエーションが豊富な対馬の渡来版経は、東アジアの印刷文化を物語るとともに、日本・朝鮮半島・中国の交流のダイナミズムを象徴しています。

対馬で守り継がれてきた渡来版経だけでなく、現在は対馬島外で保管されている対馬ゆかりの渡来版経も九博に集結します。この機会をぜひ見逃しなく!

## 対馬に遺る渡来版経



鳥帽子岳展望台から望む浅茅湾 画像提供：(一社)対馬観光物産協会

## 国を守りたい! 1011年に高麗王朝が開版を始めた大蔵経の稀少な遺例



《重要文化財》大般若波羅蜜多經 卷第1 高麗時代・11~13世紀 長崎・長松寺

## 中国・元時代、一族の幸せを祈る人々の寄付によって印刷された華嚴経

《長崎県指定文化財》大方広仏華嚴経 卷第1 元時代・13~14世紀 長崎・東泉寺



## 対馬ゆかりの渡来版経



石田三成、亡き母の菩提を弔うため、大蔵経を高野山に奉納

《重要文化財》石田三成奉納木額 安土桃山時代・慶長4年(1599) 和歌山・金剛峯寺

## 対馬島主・宗氏が輸入して数百年後、三成が高野山に奉納した由緒を持つ大蔵経



《重要文化財》大般若波羅蜜多經 卷第10 高麗時代・14世紀 和歌山・金剛峯寺

版経が中国・朝鮮半島から東方の日本へと伝わったさまは、「仏法東漸」ならぬ「版経東漸」といえるでしょう。

